

牧之原市スポーツ推進計画

【ダイジェスト版】



牧之原市
MAKINOHARA

平成 30 年 3 月

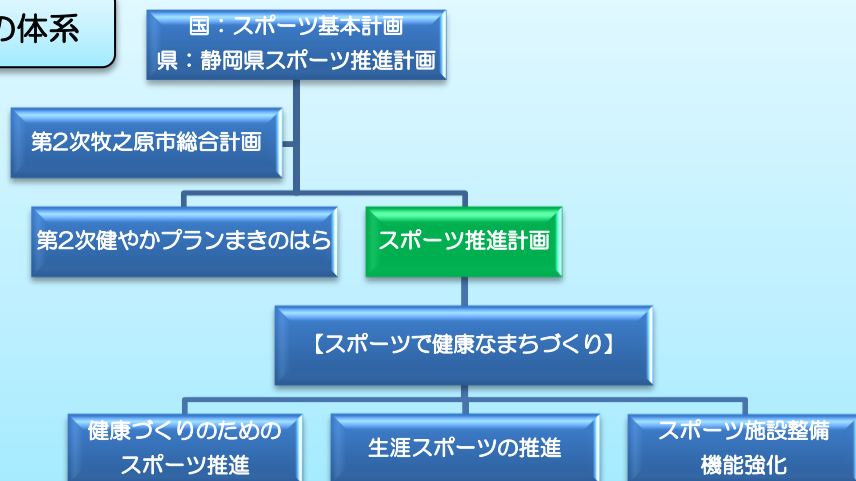
計画策定の背景と目的

国の平成 29 年第二期スポーツ基本計画の策定を契機に、牧之原市においても、これまで『総合計画』及び『健康増進計画』に位置付けられたスポーツについて、より具体的なスポーツ推進の指針にするために本計画を策定することとしました。

計画の趣旨

本計画は『第 2 次牧之原市総合計画基本計画』における政策である「支え合い、生き生きと暮らせる地域と人づくり」に沿い、施策の一つである健康づくりの推進を基本方針とし、市民一人一人のライフステージに応じた環境づくり、スポーツに触れ合う機会の提供、強化に取り組んでいくために策定するものです。

計画の体系



平成29年度
計画策定



平成34年度
中間見直し



平成39年度
計画更新

計画期間は 10 年間 中間年度に見直しを行います(その他必要に応じた見直し)

スポーツの定義

本計画における「スポーツ」とは勝敗や順位を争う競技スポーツから軽度なウォーキングやレクリエーションなどの遊戯に至るまで、幅広く体を動かすことの総称とします。



牧之原市の現状

- ・人口減少、少子高齢化が進行しています。
- ・市外県外への従業者や通学が多くなっている傾向があります。
- ・家庭や地域で過ごす時間が減り、生活の多くの時間を園で過ごす子供が増えています。
- ・小学生で毎日運動する子供は 28.7%ですが、週 1 回も運動しない子供も 26.7%います。
- ・成人で 1 回 30 分以上の運動を週 2 回以上している人は全体の 27.2%です。
- ・社会体育施設について、老朽化が進行。維持管理・整備費用が増加しています。

牧之原市の課題

●乳幼児期に対する事業展開

- 小学生において、週1回も運動していない子供が26.7%
- 乳幼児期の取り組み事業が軽薄
- 保育園等との連携による教室開催の検討が必要

●青年・中年・壮年期における運動環境の整備

- 就労形態などから、運動が習慣化できていない現状
- より参加しやすく、継続しやすい事業実施
- 気軽に参加しやすい事業の情報提供等の環境整備

●高齢者の運動機能の維持、向上

- お達者度 男性19位、女性27位
- 健康づくりや体力づくりの教室等継続しやすい活動の実施

●施設の老朽化の進行・新規スポーツ人口の獲得

- 計画的かつ効率的な施設整備、統廃合、機能強化。
- 市民ニーズに応えるため、運営方針の検討
- 無関心層やビジネスパーソンなどの新規スポーツ人口の開拓

計画推進のための施策

3つの重点施策でスポーツで健康なまちづくりを行います

【施策2】

「生涯スポーツの推進」

- ①スポーツ・身体活動を習慣づける運動教室の実施
- ②スポーツ関連団体・学校教育と連携した生涯スポーツ普及活動の支援・推進
- ③ライフステージに応じたスポーツをする機会の提供・支援
- ④障害者スポーツの推進、支援
- ⑤競技スポーツの推進、指導者の養成と活用



【施策1】

「健康づくりのためのスポーツ推進」

- ①市民一人1スポーツ実践事業
- ②運動機能維持・向上に向けた取り組み
- ③保健・健康教育と連携した運動教室事業の展開

【施策3】

「スポーツ施設整備・機能強化」

- ①誰もが利用しやすい施設、環境の整備
- ②魅力あるスポーツ施設の整備
- ③スポーツ施設の将来性、ニーズに対応した機能集約、統廃合の検討

スポーツで健康なまちづくり

各施策に反映

【意見交換会・パブリックコメント反映】

- もっと運動したいけどどこに行けばいい？
 - 市民が参加できる教室が少ない。わからない。
 - マタニティから運動できる場所が欲しい。
 - 未就園児の運動の機会が少ない。
 - PR活動が少ない。
 - 指導者の不足、資質向上
 - 施設、体育館、グラウンドの整備
- etc...

情報発信・共有

運動ができる体制づくり

施設の機能向上